



2022  
January

2022年1月



Risk Analysis Research Center

## CONTENS

- 02 | 1. 今月のトピックス
- 02 | 2. 各プロジェクトからのお知らせ
  - 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
  - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
  - リスク基盤数理プロジェクト
  - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
  - 地震予測解析プロジェクト
  - 資源管理リスク分析プロジェクト
- 04 | 3. センター事務局からのお知らせ

## 1. 今月のトピックス

この度、統計数理研究所リスク解析戦略研究センターでは、各プロジェクト研究に従事する意欲的な研究者を公募致します。ご興味のある方は、応募をご検討ください。また、併せて関係各位へご周知いただければ幸甚です。詳細及び、所定様式は下記 URL よりご確認ください。どうぞよろしくお願い致します。

[https://www.ism.ac.jp/jobs/index\\_j.html](https://www.ism.ac.jp/jobs/index_j.html)

[https://www.ism.ac.jp/jobs/index\\_j/1222.pdf](https://www.ism.ac.jp/jobs/index_j/1222.pdf)

## 2. 各プロジェクトからのお知らせ

### ■ 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 3月頃 5行の地銀と行っている信用リスクコンソーシアムはコロナ禍の影響でしばらく休止状態でしたが、研究会を開催の予定です。  
(所内責任者：山下 智志 教授)

### ■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 11月18日(木)に共同利用研究集会「官民オープンデータ利活用の動向及び人材育成の取組」がオンラインで開催されました。  
<https://www.nstac.go.jp/services/setumeikai.html>
- 11月19日(金)に「公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム2021」をZoomウェビナーで午前と午後の二部制で行い、午前のセッションは、リモートアクセス型オンサイト利用に関するチュートリアルとして3名の方に講演頂き、午後は「公的統計と統計教育」「統計データの高度利用に関する研究」という2つのテーマで、公的統計に関連する統計教育・研究事例について10名の方に講演頂きました。当日は97名の方のご参加がありました。

[http://jmodc.org/event/sche\\_repo\\_2021sympo.php](http://jmodc.org/event/sche_repo_2021sympo.php)

(所内責任者：南 和宏 教授)

- 12月9-10日に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムが共催する研究集会「大規模データの公開におけるプライバシー保護の理論と応用」が開催されました。
- 12月14日(火)に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム評議会をオンラインで開催し、委員会で策定した活動計画などについて、さらなる議論が進められました。

### ■ リスク基盤数理プロジェクト

- 11月15日(月)に本年度で5年目となる持ち回り開催のワークショップ「確率・統計・行列ワークショップ 彦根 2021」を滋賀大学(彦根キャンパス)にて開催しました。  
<http://math.shinshu-u.ac.jp/~nu/html/workshop/20211115-hikone/>  
ハイブリット形式の開催は特有のノウハウが要求される為、貴重な経験値を積むことができました。  
(所内責任者：栗木 哲 教授)

- 11月25-27日に共同研究集会「無限分解可能過程に関連する諸問題」がオンライン(Zoom)を使用して開催されました。参加登録者は65名。従来からの確率論の分野、近年盛んになりつつある新しい分野、統計的応用と様々な研究発表が行われました。  
<https://sites.google.com/view/takaakishimura>

(所内責任者：志村 隆彰 准教授)

### ■ 環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

- 1月7-8日「生物統計と数理生物：似ているようで異なる生物へのアプローチ」共同利用研究「生態データ統計モデルの包括的推進：個体群・群衆・行動」(2021-ISMCRP-5003)を統数研3階セミ

ナー室 + オンラインのハイブリット形式で開催予定です。状況により会場の定員は制限される予定です。

(所内責任者：島谷 健一郎 准教授)

- 1月27日(木)に「ISM Symposium on Environmental Statistics 2022」をオンラインにて開催予定です。今回は台湾、シンガポール、オーストラリアからの講演者にご講演をいただきます。また、本シンポジウムのオーガナイザーは、Daisuke Murakami (ISM), Stephen Wu (ISM), Shonosuke Sugasawa (University of Tokyo), Alan Welsh (Australian National University), Koji Kanefuji (ISM) です。本シンポジウムの情報を、統計数理研究所のホームページで公開しました。

<https://www.ism.ac.jp/events/2022/meeting0127.html>

- 2月28日(月)に「情報科学による環境化学分野の問題解決と新展開に関する研究集会」を、オンラインで開催予定です。

(所内責任者：金藤 浩司 教授)

## ■ 地震予測解析プロジェクト

- 12月3-20日 統計数理研究所共同研究集会【諸科学における大規模データと統計数理モデリング】と、自然科学研究機構分野融合型共同研究事業【諸科学における大規模・多様なデータを基盤としたデータ駆動型研究の萌芽・推進のためのワークショップ】を開催しました。

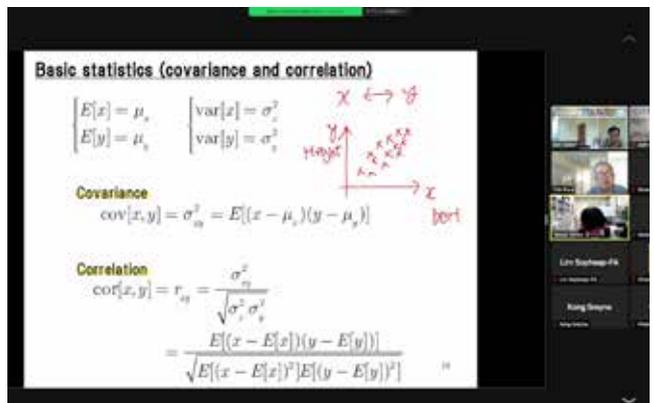
<https://sites.google.com/view/shokagaku/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0/21%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E5%86%AC>

(所内責任者：矢野 恵佑 准教授  
島谷 健一郎 准教授 他)

## ■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 12月9-10日にカンボジア統計数理ワークショップを現地側はオンライン、日本側はオンサイトのハイブリット形式で開催しました。なお、これに先駆けて、現地スタッフによるレビュー講義が、11月22-24日で行われました。ワークショップ開催に必要な機材を現地に送り込む等、難しい局面もありましたが成功裏に終了しました。

<https://agfrem.org/workshop/202112.html>



カンボジアワークショップの様子

- 1月11-12日にネパール・トリブヴァン大学で、統計数理ワークショップをオンラインと現地でのハイブリッドで開催の予定です。トリブヴァン大学側のカドマンズ・キャンパス及び、ポカラ・キャンパスの2か所では現地に学生が集まれる状況なので、日本側は国内で集合し、3か所での開催を調整しています。
- 2月20-21日にラオス国立大学での統計数理ワークショップを開催予定です。

- 2月 22-23 日にベトナムで統計数理ワークショップを開催予定です。
- 3月 7-8 日に AgFReM インターンシップを開催予定です。
- 3月 17-18 日に FORMATH 国際シンポジウムを開催する予定です。

(所内責任者：吉本 敦 教授)

### 3. センター事務局からのお知らせ

- 12 月のリスクセンター運営会議の議題
  - ・ リスクセンター PD の新規採用について
  - ・ 予算執行状況の確認
  - ・ 来年度予算の状況説明と人件費について
  - ・ 客員教授室の廃止とリスクセンター部屋の利用について
  - ・ 各プロジェクトからの報告
  - ・ その他
- 次回の会議は 2022 年 1 月 12 日 (水) 11:00 ~ の予定です。

2021/1/5